

力強い前進で新たな歴史作る 70周年式典 パリ五輪メダル獲得へ激励

スポーツを通じて次代の在日同胞アスリートを育成してきた在日本大韓体育会が4月2日、東京都内のホテルに関係者250人余りを集め、会の創立70周年を振り返った。特に1953年から始まった韓国国体への在日同胞選手団派遣は累計1万人を超え、韓国代表への道を開き、五輪や国際大会で活躍する人材を多数輩出してきた。

解放直後、ロンドン五輪に出場する韓国選手団への支援は、在日本大韓体育会が正式発足する前のこと。当時の祖国は貧しかった。在日体育人の祖国愛が五輪初出場をアシストした。

在日本大韓体育会を創立すると、各種国際大会に出場



パリ五輪に出場する許海実、金知秀両選手に激励金を伝達

する韓国選手団のサポートや在日スポーツ振興のための事業を展開してきた。特に、韓国国体への在日選手団派遣は長い歴史を振り返っても誇るべき事業だ。通算選手数は延べ1万人を超える。

かつて在日同胞は国籍要件により、日本の国体などに出場できなかった。それだけに、韓国国体への参加は韓国人としてのアイデンティティーを育成し、母国との絆を確認する貴重な機会となっている。

最近では東京五輪男子柔道73kg級銅メダリストの在日3世、安昌林氏が代表的だ。

崔相英会長は記念辞で70年の歩みを振り返りながら「韓国選手の躍進のかけには、支援を惜しまなかった在日の力があったと自負している」と胸を張った。

これに対して、尹徳敏駐日韓国大使は「在日の献身や支援によって国際社会における韓国の存在感を高めることができた」と感謝の言葉を述べた。民団中央の金利中団長も「民団としても在日同胞のため支援していく。今後もますます発展してほしい」とエールを送った。

この後、パリ五輪でのメダル獲得が期待されている許海実と金知秀の両選手に激励金として1000万ウォン、京都国際高校野球部への激励金として同校の李隆男理事長にも200万円を贈った。

70周年を記念して関係者への表彰も行われた。

第2部では世界的パフォーマーで在日3世の「ちゃんへん」さんによるパフォーマンスとK-POP男性グループ「K4」によるミニコンサートで祝賀ムードを盛り上げた。

スポーツ通じて同胞社会活性化へ



在日本大韓体育会
会長 宋榮奉

第15代会長に就任した宋榮奉です。

1953年に結成した在日本大韓体育会は70年あまり、祖国、大韓民国スポーツの発展、韓国選手団のサポートはもちろん、韓日スポーツ界の発展と交流や在日アスリートの発掘と育成など、幅広い活動を展開して参りました。

一方で、外国籍であるがゆえに日本での活動の場を制限されていた在日アスリートに夢を与えるため、韓国国体に派遣しました。これまでに1万人以上の選手を送り出し、この中から韓国代表となり、五輪や国際大会で活躍した選手を数多く輩出しました。

今後もスポーツを通じた韓日民間交流を深めるとともに、世界へと羽ばたく次世代アスリートを育成し、新たな未来を作っていきます。

本会に対するご支援とご声援をお願いいたしますとともに、皆さまの周囲に優秀なスポーツ選手がいっぱいありましたら、ぜひとも本会までご紹介下さいますようお願い申し上げます。

スポーツ通じて同胞社会活性化へ

第56回定期総会

宋榮奉会長を選出



「スポーツを通じて同胞社会の活性化を図っていききたい」と抱負を述べた宋榮奉新会長

在日本大韓体育会は4月20日、東京・港区の韓国中央会館で第56回定期総会を開き、2023年度第71期活動報告と決算報告、第72期活動方針・予算案をそれぞれ採択し、任期満了に伴う役員改選では崔相英会長の後任として、宋榮奉前副会長が新会長に選出された。監査は成正幸、車龍和の2氏が留任した。(4面に第72期役員一覧)

また、崔相英前会長に継続して本国や日本などスポーツ界との橋渡しを担ってもらうためにも、直前会長としての役職に就いてもらうことも承認した。

総括報告では、2012年に選出された崔相英執行部は12年間、次世代アスリートの育成、国際大会への派遣、2018平昌五輪募金、2020東京五輪韓国選手団支援、各種スポーツ大会開催、韓国国体への在日同胞選手団派遣等、幅広くスポーツ事業を展開したことが強調された。

また、昨年、創立70周年記念事業の一環として、大阪で「青少年テコンドー大会」を開催し、今年4月2日には東京都内で70周年記念式典を開催し、パリ五輪に出場する女子柔道の許海実、金知秀選手への激励も報告された。

活動方針では韓国国体への優秀選手発掘と派遣をはじめ、体育会の歴史を紹介する映像と冊子を制作するほか、ホームページなど広報活動を強化していく。

宋榮奉会長は「皆さんの力を借りながら、スポーツを通じて同胞社会の活性化を展開したい」と抱負を述べた。

各地方でも総会

関東本部 韓学にユニフォーム贈呈

関東本部(文京一会長)は5月18日、東京・港区の韓国中央会館で第45回定期総会を開き、各競技団体と連携した次世代育成を主体としたスポーツ大会の展開など新年度活動方針を決めた。

報告では、コロナ禍の期間でも、27年間欠かさずにオリニ・ミニサッカー大会が継続できたことが強調された。

新年度方針は①韓国国体への優秀選手派遣②第28回オリニミニサッカー大会③関東テニス大会④オリニボウリング教室への支援など。また、東京韓国学校初等部サッカーチームにユニホームを寄贈し、同校児童たちにサッカーに親しんでもらうことも確認した。

中北本部 モルック大会を継続

中北本部(南茂会長)は5月17日、名古屋市の民団愛知本部会館で第51回定期総会を開催。新年度活動方針として①第2回モルック大会開催②ボウリング大会③民団支部のスポーツ大会支援など、民団や傘下団体、競技団体と連携したスポーツ大会の協力などを決めた。

九州本部 ボウリングフェスタ開催

九州本部(任隆二会長)は5月18日、福岡韓国会館で第53回定期総会を開催。新年度活動方針として①九州ボウリングフェスタ②韓国国体への選手派遣のほか、パリ五輪に出場する在日3世の女子柔道、許海実、金知秀選手への応援などを決めた。

関西本部 新会長に厳将守氏



関西本部(権五雄会長)は6月15日、大阪韓国会館会議室で定期総会を開き、新会長に厳将守前副会長＝写真＝を選出した。その他の役員については会長に一任した。

関西に本部を置く各競技団体長と協力体制を強化して、優秀選手の発掘や各種スポーツ大会などを開催していくことを決めた。

テニス協会 新会長に申永吉氏 「韓国代表輩出めざす」



在日本大韓テニス協会(申命根会長)は5月26日、大阪韓国会館で2024年度定期総会を開き、新会長に申永吉前副会長＝写真＝を選出した。

申永吉新会長は1969年生まれで、高校生時代の85年には韓国ジュニア代表となり、各種大会で優勝した。89年には韓国ジュニア常備軍のコーチを歴任したあと、韓国最大のテニスアカデミーを創設し、後輩を育成してきた。テニス好きで知られる李明博大統領も、ソウル市長時代に彼から指導を受けたことも知られており、土浦市と韓国のテニス都市の交流の後押しとなった。

2004年に単身で日本に渡り、K C J テニスアカデミーを設立してジュニアを指導し、ジュニア世界チャンピオンを作りだしている。

申会長は「韓国国体に優秀な選手を派遣させ、将来は韓国国家代表を輩出することを目標に活発な活動を展開していきたい」と抱負を述べている。

許海実が世界選手権優勝

韓国女子29年ぶり…パリ五輪へ勢い

女子柔道国家代表の在日3世、許海実選手(慶北体育会)が韓国選手としては6年ぶりに世界選手権大会のトップに輝いた。

5月21日(日本時間)、UAEのアブダビで行われた世界柔道選手権大会の女子57kg級決勝で、許海実の世界ランキング1位のカナダの出口クリスタにゴールデンスコア方式の延長戦の末、反則勝ちを収め12分19秒の死闘を制して優勝した。

予選3試合をすべて一本勝ちで通過した許海実は、準決勝で世界2位を技ありで下し、決勝で世界1位の選手まで破って金メダルを獲得し、2カ月後のパリ五輪への期待を高めました。

韓国柔道が世界選手権でトップに立ったのは2018年、在日3世の安昌林(男子73kg級)と趙グハム(男子100kg級)以来、6年ぶり。女子としては、1995年の鄭成淑(61kg級)、曹敏仙(66kg級)以来、実に29年ぶりだ。

早々に五輪出場を決めた許は、パリで金メダル獲得に挑む。

本会の宋榮奉会長は「韓国柔道選手としては、同じ在日3世の安昌林選手以来6年ぶり、女子としては29年ぶりとい



う快挙は、実に誇らしい。しかも、準決勝は世界ランキング2位の選手に、決勝は1位との死闘を制し、底力を見せてくれた。パリ五輪では在日同胞だけでなく、韓国でも大きな期待が膨らんでいる。ぜひとも金メダルを獲得し、世界中の同胞に歓びの笑顔を見せてほしい」と述べている。

未来の国体選手めざせ オリニボウリング教室で交流 マイボールでの本格指導も

在日本大韓ボウリング協会(韓新悟会長)は民団東京荒川支部(鄭在桓支団長)、青年会東京本部(郭玟瑤会長)とスクラムを組んで、ボウリング教室と交流会を兼ねた「2024在日同胞オリニフェスティバル」を6月2日、開催した。約30人の同胞小・中学生が参加した。

同協会では2013年から毎年ゴールデンウィークの5月に開催していたが、コロナ禍のため、2020年から3年間、中止を余儀なくされていた。昨年、コロナ禍が明けたことで4年ぶりに再開し、2年連続となる。

東京都墨田区のアイビーボウル向島で行われたボウリング教室では韓国国体経験者など10人の在日ボ



韓国国体出場選手から手ほどきを受けるオリニ



約30人のオリニが参加したボウリング教室

ウラーが指導した。今年は入門、初級、中級と学年別に指導レベルを変えた。高学年と中学生は子ども向けのマイボールを準備し、本格的なテクニックをコーチングした。

ボウリング後、民団荒川支部会館に会場を移して、表彰式を兼ねたオリニ交流会が行われた。運営に加勢した青年会東京本部のメンバーは、夏休みに開催するオリニ・サマーキャンプのチラシを配り参加を呼びかけた。

同協会は2017年からは日本韓食振興協会(崔光礎会長)、民団荒川支部とコラボし、ボウリングとオリニ交流会をミックスさせてきた。

韓会長は「毎年オリニたちの喜ぶ姿に力をもらえる。将来、このオリニたちが韓国国体選手に育ってほしい」と笑顔を見せた。

在日本大韓体育会 第72期役員

本会第56回定期総会において会長に一任されていた、人事が以下の通り決定いたしました。

常任顧問	宋基泰	金昭夫	吳公太				
顧問	延 祥	韓昌祐	金奉任	金宰淑	洪性仁	朴賛重	柳箕桓
	許孟道	吳政夫	孫京翼	千柄勝	金修一	丁海遊	金一雄
	金建治	金和男	李寿源	鄭 博	韓賢澤	金栄治	千憲司
	金哲也	吳永錫	陳賢徳	金利中	任泰洙	金芳秀	金淳次
	権清志	李英俊	吳龍夫	金龍海	金尚弘		

直前会長	崔相英						
会長	宋栄奉						
副会長	丁廣鎮	大松秀一	崔 潤	孫栄泰	姜榮眞		
	嚴将守	南 茂	任隆二	文京一			
	(関西会長)	(中北会長)	(九州会長)	(関東会長)			
監 事	成正幸	車龍和					

専務理事	鄭眞一(事務局長兼)						
常任理事	金浩史	金一波	金英明	尹明遠	裴和彦	金永浩	
理事	白永鎮	鄭良洙	山村章嘉	申景浩	金紀彦		
地方推選理事	徐美也子	朴茂秋	権源宅	金優子	許哲中	鄭昇栄	秦承煥
	(中北)	(中北)	(九州)	(九州)	(関東)	(関東)	(関東)
競技団体理事	金玄道	康治雄	金寛和	朴泰成	申永吉	高俊光	韓新悟
	(野球)	(射撃)	(柔道)	(蹴球)	(テニス)	(テコンドー)	(ボウリング)
	白雲峰	金文達	姜又石	金 実	宋武夫		
	(ゴルフ)	(剣道)	(ヨット)	(籠球)	(排球)		
総務部長	金明希						

パリ五輪ゴルフ 韓国出場選手は4人か



パリ五輪に出場する男子ゴルフ韓国代表は、6月17日に発表された世界ランキングによって、26位の金柱亨(21=左上)と27位の安秉勲(32=右上)の2人で決定した。

女子は、ゴルフが五輪に復帰した2016年リオと2021年東京には4人が出場してきた。しかし、今大会は2人のみとなる可能性が高い。

世界ランキング15位以内の選手は各国最大4人まで出場権を獲得できるが、6月18日時点で15位以内の韓国人選手は、7位の高眞榮(28=左下)と12位の金孝周(28=右下)の2人のみだ。

第105回全国体育大会・慶尚南道2024

The 105th National Sports Festival

在日同胞優秀選手を募集

在日本大韓体育会では2024年10月11日から17日まで、慶尚南道で開催される、第105回全国体育大会(韓国国体)に派遣する、在日同胞の優秀選手を募集しています。

韓国国体は、各市・道の厳しい予選を勝ち抜いた韓国国内の地域代表選手と、世界18カ国の海外同胞選手が一堂に会する韓国最大のスポーツ大会です。

韓国代表も含めたトップレベルの選手たちと各国海外同胞選手が技を競い、交流を深める場となっています。

また、在日同胞アスリートにとっては、韓国代表に選抜されるチャンスとなっています。



GYEONGNAM 2024

제105회 전국체육대회

開催日時	2024年10月11(金)~17日(休)
開催地	金海市と慶尚南道17市郡
主催	大韓体育会(後援:文化体育観光部)
参加費用	航空費・宿泊費・食費等は本会で負担

在日同胞選手団の募集競技

- 海外同胞競技
 - ▼テニス▼サッカー▼ボウリング▼ゴルフ▼卓球▼スカッシュ▼テコンドー▼剣道
- 国内競技
 - ▼陸上▼水泳▼ボクシング▼レスリング▼重量挙げ▼柔道▼アーチェリー
 - ▼体操▼フェンシング▼ヨット▼乗馬▼カヌー▼ウシュ▼近代5種
 - ▼ボディービル▼トライアスロン▼他全47競技(第104回大会基準)
 - ※競技年齢区分:男女ともU18の部(旧高校の部)、大学の部、一般の部

出場資格

- ①海外同胞競技
 - ◆2006年9月1日以前の出生者(満18歳以上)
 - ◆韓国国民で日本に1年以上の居住者
 - ◆韓民族をルーツに持つ日本居住者
 - ※プロ及びプロ経歴者は参加できません
- ②国内競技
 - ◆韓国国籍保持者(重国籍含む)
 - ◆2024年4月時点で高校生以上



ご周囲の優秀な選手を
体育会までご紹介下さい。

■問い合わせ先
「第105回 全国体育大会」在日同胞選手団事務局
TEL(03)3454-8894 FAX(03)3454-8895 e-mail:info@kscj.org